

第306回 番組審議会

1. 日 時 令和3年 11月 16日 (火) 12:00～
2. 場 所 メトロポリタン盛岡NEW WING
3F「星雲東の間」
3. 委 員 委員総数 8名
出席委員数 7名

○ 出席委員 (敬称略)

鈴木 厚人 (委員長)
近藤 一英 (副委員長)
—以下50音順—
石田 征広
佐々木 泰司
平野 順子
八木橋 伸之
渡邊 佳隆

○ 会社側出席者

齋藤 秋水 (代表取締役社長)
高嶋 昇 (常務取締役)
一戸 俊行 (取締役)
君澤 温 (取締役総務局長)
佐々木 雄祐 (岩手めんこいテレビ報道部担当部長)

○ 事務局

近谷 利政
岩渕 博美

4. 議題 「異彩を放て～カラフルなぬくもり～」
放送日時：令和3年9月18日（土）
14：30～15：00

5. 議事概要

今回は、9月18日（土）に放送した『異彩を放て～カラフルなぬくもり～』について審議しました。

●岩手めんこいテレビ報道部担当部長佐々木からの説明

ディレクターが長期にわたって密着し、松田兄弟の自然体の姿や根底にある思いを描いた旨を説明。

●出席した委員からの意見

- ・“支援者でなく伴走者でありたい”という言葉など、考えさせられる良い番組だった
- ・重くなりがちなテーマを気持ちを暗くさせず、その問題をまっすぐ考えさせる作りだった
- ・「障がい」という言葉を見直すべき
- ・見終わった後、何か支援したい、取り組みたいと思わせてくれる番組だった
- ・商品開発までのプロセスやギャラリーの場所、商品ラインナップの紹介が欲しかった

●委員からの質問、意見に対する会社側からの回答

- ・商品化される過程や作家さんの生活の部分など織り込めていなかったのは、30分番組であったこと、お母さんへの思いがすべての活動の原点にあるのを、しっかり表現していく上での構成でした。彼らの活動、ビジネスとし成り立ち広がっている背景にあるものを、さらに取材を広げて、理解を深めて広げてもらえるような取材活動をしていきたいと思えます。

6. 審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置

特になし

7. 審議機関の答申意見概要を公表した場合におけるその公表内容、方法及び年月日

※令和3年11月17日（水） 産経新聞 東北版

※令和3年11月27日（土）午前4時42分から4時45分まで
「めんこいテレビ番審りポート」として放送。

※据え置き書類を作成し、本社受付、各支社に備置き一般の人々が自由に閲覧できるようにした

8. その他の参考事項

特になし

次回は、令和4年1月18日(火)12時より開催予定です。